

# 学校評価アンケート結果の分析

## 【学校生活について】児童アンケート1、保護者アンケート1、教職員アンケート14の比較

・保護者の評価は高いと言えるが、児童の否定的な回答の割合が高く（全体平均8.1%）、特に、低学年の否定的回答の割合が高いことから、より丁寧な支援を行っていく。

## 【授業（内容）】児童アンケート5、児童アンケート2の比較

・保護者からは高い評価を得られていると言える。また、児童の評価も比較的高い評価を得られていると言える（「そう思う」が全体平均で60.4%）。日々の先生方の教材研究・授業改善の成果と考えられる。ただ、否定的な回答も一定数見られるため、さらなる改善が必要である。

## 【授業（主体性）】児童アンケート7、保護者アンケート3

・他の授業関連項目と比較すると、A評価に少し課題が見られる項目である。まずは、児童が主体的になれるような課題を設定していけるよう研修を進めていく。

## 【授業（個別）】児童アンケート8、保護者アンケート4、教職員アンケート3の比較

・保護者の肯定的評価が他の授業関連項目よりも低い。また、教職員と保護者・児童の間で乖離が見られる。きめ細やかな個別最適な学びを実現できるよう、さらに研修を推進していく。

## 【授業（夢中）】児童アンケート9、保護者アンケート5、教職員アンケート4

・教職員、保護者に比べて児童のA評価は高く50%を越えている。日々の教材研究等の成果が表れていると考えられる。

**【授業（協働）】** 児童アンケート10、保護者アンケート6、教職員アンケート5の比較

・教職員よりも、保護者の方が高く評価をしている項目である。個別最適な学びと協働的な学びは一体的な充実が求められている現状で、教職員のC評価は改善必須と考える。さらなる校内研修の推進により、授業力の向上を図りたい。

**【読書】** 児童アンケート12、保護者アンケート9、教職員アンケート8の比較

・教職員の否定的評価がおよそ2.5割である。同様に児童の否定的評価も高い。学年によっては、時間の確保が難しい現状もある。カリキュラム・マネジメントの充実と絡めつつ、じっくりと読書に親しむ時間を充実させ、読書好きな児童の育成を目指したい。

**【あいさつ】** 児童アンケート13、保護者アンケート10、教職員アンケート9の比較

・児童の評価が低い項目である。まずは教職員が率先してあいさつをすることが不可欠。各家庭でもご協力をいただきたい。

**【体力】** 児童アンケート16、保護者アンケート12、教職員アンケート12の比較

・児童数、施設面、校庭改修等の関係もあり、評価が厳しい項目。来年度は校庭改修も終わるため、休み時間等の子どもたちの外遊びを促していきたい。

**【いじめ】** 児童アンケート17、保護者アンケート13、教職員アンケート13の比較

・教職員は真剣にいじめに向き合っているが、児童や保護者からいじめ相談があったときの対応をさらに真摯に行うとともに、折に触れて子どもたちに「いじめは許さない・許されない」というメッセージを発信し続けていきたい。

**【見守り】** 児童アンケート19、保護者アンケート14、教職員アンケート15の比較

・児童の肯定的評価は非常に高い。一方、児童に比べると保護者のA評価はその半数以下となっている。否定的な回答をしている児童もいるため、まずは、子どもたち一人ひとりに対して、人権をもった一人の人間として、温かな対応・支援を改めて行っていきたい。

**【思いやり】** 児童アンケート 20、保護者アンケート 15、教職員アンケート 17 の比較

・学年別に分析すると、高学年になるほど肯定的回答が増加している。日頃の指導や特別の教科道徳等の成果の表れと考えられる。保護者の肯定的評価も高い。

**【施設管理】** 保護者アンケート 17、教職員アンケート 19 の比較

・保護者A評価が低く、否定的評価の割合も高めである。学校だけでは限界があるが、物品の整理・施設環境の整備に取り組むとともに、引き続き教育委員会にも施設・設備の改善について要望していく。

**【地域人材】** 保護者アンケート 19、教職員アンケート 21 の比較

・教職員、保護者ともに同様の結果となった。教育課程と関連させ、さらなる充実を図っていきたい。

**【公開】** 保護者アンケート 20、教職員アンケート 22 の比較

・保護者の満足度は比較的高いが、保護者記述にもあるように、学校公開日の設定などさらなる取組については令和9年度以降の実施を目指し、検討を進めていく。

**【端末活用】** 保護者アンケート 7、教職員アンケート 7 の比較

・教職員、保護者ともに同様の結果となった。日々の授業での活用は進んでいるが、今後の学習指導要領の改訂を見据え、さらに積極的な活用を推進していきたい。